

「ひと・まち・元気委員会」の活動

Vol.31

2021年12月発行

「みかん屋」定期オープンのご案内



**コロナ禍における
地域活動の工夫と取り組み**

こえん/だんごむし/ありんこ

コミティ目向(ひなた)

茨木市学習・生活支援事業&みしま楽習塾

ちょい(choi)/CSW

地域交流促進・相談機能強化事業

休眠預金活用事業「ひと・まち・元気委員会」の活動

みしま・らくらく亭での相談所開設

火曜日の午後1時から、みしま・らくらく亭に「ひとまち元気」相談コーナーを併設しています。



生活のちょっとした困りごとの相談窓口となっています。保健師さんの健康相談もありますので、お気軽に足をお運びください。



みしま・らくらく亭は毎週火・水・木曜日に開所しています

**認知症高齢者の
徘徊発見模擬訓練**



10月7日に庄栄地区、10月14日に三島地区で開催をしました。

認知症高齢者に扮装した人をグループに分かれて探し出し、声掛けをするという訓練です。

探すのに時間がかかるグループ、声掛けをどうするか悩むグループなど、皆さん色々考えて取り組んでいました。



安心ドアセンサー 設置推進



三島丘府営住宅にお住まいの方に、「もしもの時のため」の安心ドアセンサーを設置しています。48時間ドアの開け閉めがないとブザーが鳴るシステムです。

ご興味のある方は、M-CAN 事務局か福祉委員に、お気軽にご相談ください。



予定

STAMP

防災活動の推進

《指定避難所スタンプラリーのとりくみ》



休眠預金を活用した助成事業の一環として、1月には「三島中学校区内の指定避難所をめぐるスタンプラリー」を、3月には「一人ひとりの『防災避難手帳』づくり」に取り組む予定です。

詳しくは、後日お知らせします。



コロナ禍における地域活動の工夫と取り組み

コミュニティテイクハウス 日向(ひなた)



日向では、運動不足解消の一環にと「ディスコン」を始めました。チーム戦なので、相手チームに勝とうと皆、真剣勝負です。コロナ禍の中で連帯感も生まれ、思わぬ成果がありました。

また新たに「ちぎり絵」や「フラワーアレンジ」も始め、好評です。

近々「タブレット・スマホ講座」も開き、より魅力ある日向を目指していきます。



ディスコンとは・・・

円盤(ディスク)を、操作(コントロール)することからディスク・コントロールを合成して「ディスコン」と命名された新しいスポーツです。年齢・性別を問わず楽しむことができ、健康や体力づくり、リハビリにも最適！ぜひご参加ください！



プレようちえん ありんこ

週1回、2才児16名がパパママから離れて、集団遊びをしています。

コロナ禍ですが、『同年齢のお友達と遊ばせたい』という想いを受け、消毒・検温・手洗いをしながら、毎回子どもたちは、元気に登園しています。



こえんひろば・だんごむし



こえんひろばホームページ
<http://wp.koenhiroba.net/>

同じ年頃の親子どうしの交流ができなくなり、もうすぐ2年になります。

ひろばでは、感染予防対策のため交流することが難しい状況ですが、地域の公園や総持寺いのち・愛・ゆめセンターでは、複数組の親子が集えるお楽しみを企画しています。

また、一時あずかり「だんごむし」は、用事のある時だけでなく、パパママのリフレッシュにも使ってくださいね。

詳しい事はホームページやおたよりをチェックしてくださいね♪



いきいきネット相談支援センター(CSW)



4月より、この地域を担当しています瀬戸口です。
生活の中でお困りや不安なことなどがあれば、お話をうかがい、解決に向けて一緒に考えさせていただきます。気軽にご連絡ください♪



ユースフラザ EAST 「ちょい(choi)」

中高生からおおむね39歳の生きづらさを抱えた若者が集い、気軽に相談できる居場所。

「ちょい」では、この夏より地域の方々と一緒に新たな取り組みを次々と始めています。

そのひとつが「食」の取り組み。

みんなで楽しく考えて、作って、Sojiji Cafe を活用して食べる。

結束力や自信を高めたり。

その効果が少しずつ出てきており、「成長」が見える取り組みとして、地域のみなさんの温かいご協力をいただきながら、利用者さんとこれからも様々なことができると思っています。よろしくお願いいたします。

学習・生活支援事業



みしま楽集塾



コロナ対策としては、中学生は学習支援を中止することなく、時間短縮して継続しました。不安に思う保護者の相談もありましたが、出席率が低下することもなく参加してくれました。

小学生は、参加人数が減少傾向ですが、少ないながらも子ども達は元気に通っていました。

引き続きよろしくお願ひします。



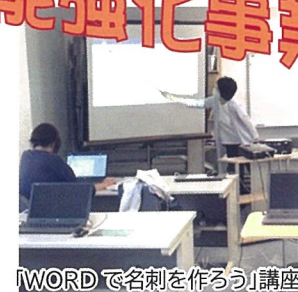
地域交流促進・相談機能強化事業



ふれあいラジオ体操



ふれあいの囲碁・将棋



「WORDで名刺を作ろう」講座

地域交流促進事業として、愛センターで「ふれあいラジオ体操」と「ふれあいの囲碁・将棋」を実施しています。コロナ禍の中、やむを得ず中止・再開を繰り返しながら、今は広い大会議室での開催(毎週水曜日)で定着してきました。

また、「健康食事講座」・「パソコン講座」・「手話講座」など、おうち時間を楽しく健康に過ごせる講座も実施しています。

相談機能強化事業では、コロナ禍の中での日々の不安などの相談も多数お聴きしました。

なお、今年度の「みしま・まちの玉手箱」は3月5日に開催予定です。詳しくは、総持寺いのち・愛・ゆめセンターまでお問合せください。ご参加お待ちしております。



昨年度の「みしま・まちの玉手箱」



三島コミュニティ・アクションネットワーク 愛称 M-CAN(ミカン)は、三島地域の助け合いの仕組みとして組織され、今では阿威川東部エリアにおける福祉の拠点として位置づいています。

コミュニティデイハウス「日向(ひなた)」や在宅親子のつどいの広場「こえんひろば」など、地域福祉にこだわった事業を展開し、「共生のまちづくり」など、住民一人ひとりが輝いて生活できる仕組みづくりを目指しています。

M-CAN では、設立主旨を理解いただき、一緒に「まちづくり」「地域福祉」を創っていく方を募集しています。

- ① 個人正会員(年額) 5,000 円(一口)
- ② 団体会員(年額) 10,000 円(一口)
- ③ 賛助会員(年額) 3,000 円(一口)

会員には情報誌「M-CAN Juice」をお届けします。また、M-CANが実施する様々な行事の案内や事業活用がおこなえます。

個人・団体会員については、総会での「議決権」が保障され、M-CAN の意思決定に参画することができます。

NPO 法人 M-CAN(ミカン)まで、お気軽にお問い合わせください。



M-CAN Juice Vol.31

2021年12月15日発行

印刷: 株式会社プリントバック

デザイン: WoodVillageFactory WVF



sojiji cafe みかん屋


「sojiji cafe みかん屋」では、10月から下記のように、曜日による定期オープンがスタートしました。

茨木市総持寺駅前町 15-21
総持寺カフェ みかん屋



地図

月曜日
11:00~(15:00)
喫茶
ラポール
ワンコインランチなど
お昼の定食もあります。
13:30~はデザートもできます!




火曜日
11:00~(14:30)
ベーカリーカフェ
ペコロス
就労支援センターオン
ワークの焼き立てパン
の販売とコーヒーを提
供しています。

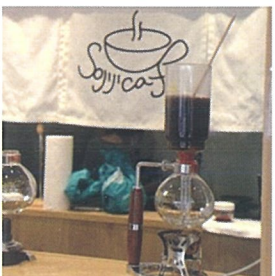


清風会茨木病院ホームページより

木曜日
11:00~(20:00)
キッチンカー
Y's Crepe
生地こだわった自慢
のクレープと飲物。
店内でもお召し上がり
いただけます。



土曜日
13:00~(16:00)
コミュニティカフェ
ぷらぷら
本格サイフォンコーヒ
ーをどうぞ!
立ち寄って休憩いただ
くだけでも OK です。



月曜日・土曜日の開店時に併設
生活支援の拠点 **おたがいさまプラザ**
おゆずり活動やおすそわけ活動、見守り券「みしまーる」
の利用をおこなっています。詳しくはスタッフまで。

